

2-1 働くことの目的と意義

価値観 (勤労観・職業観)

1. 題材設定の理由

人の働く目的は、「収入を得て生活するため」と思っている生徒が多い。しかし、職業人としてどう生きるかは、自分にとっても社会にとっても大きな問題である。

「身近な人々の職業」(1-4)では、働く目的として、特に生計の維持に(家族のために)努力する親の姿を見た。

ここでは、働く目的や意義を「生計の維持」だけでなく、「個性の伸長」「社会への貢献」の3つの側面から考えさせ、幅広い視野から自分の進路を検討していけるようにさせたい。

2. 指導のねらい

働くことの意義と目的について考え、働くことの価値を理解させることができる。

3. 指導計画(全1時間)

事前	・学校で；働く目的についての考えを聞く。 ・家庭で；P.24①に働く目的についてまとめさせ、目を通して把握しておく。(1-4, 資料編①をもとにしながら、まとめるよう指示する)
本時	・仲間と語り合ったり、資料を読むことを通して、働く目的の3つの側面(生計の維持・個性の伸長・社会への貢献)について理解する。
事後	・ノートによる個別指導をする。

<説話例>

Tくんのお父さんは、浄化センターに勤めてみえます。家庭などからの排水を浄化(きれいに)して、河川に返す仕事です。汚い水がたくさん流れてきて臭いがひどいこともあったり、排水の量やその汚れ具合を見て、機械をいつも調整しなくてはならないため、つらいなあと思うこともあるそうです。しかし、汚い水がきれいになったとき、本当に働いた喜びを感じるそうです。今、新しい機械を設置しているところで、「これでもっと多くの水をきれいにできる」と喜んでいるそうです。「自分たち人間が、汚くて臭い水を出したんだ。誰かがきれいにしてくてはみんなが困る。みんなのためになる仕事だ。」と、お父さんは誇りを持っているそうです。

Tくんは、「なぜ川の水は汚れるのか。どうしたらきれいになるのか」ということについて追究しています。追究に役立てようと、夏休みにお父さんの職場を訪問し、仕事の一部を体験しました。Tくんは、「汚くて臭くてつらい仕事だけど、汚い水が目の前でどんどんきれいになっていくのを見て、やりがいがあると思った。それに、川をきれいにしたいと空き缶を捨てていることは無駄じゃないと分かった。機械を使うのも好きだし、お父さんの仕事はほくにあっているかもしれない。」と思ったそうです。人の生活を支えているという誇りがもてたり、自分の長所を発揮できるような職業は何だろうか。探してみたいですね。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・本時の活動のねらいや活動内容について理解する。	◎1-4や、身近な人々の職業へのインタビュー(資料編①)を振り返り「働いてみえる理由」についての意見を交流する。 ・お金を得るため。 ・暮らしていくため。 ・家族を養うため。 ・生きがいを求めて。 ・社会の一員として、自分の役割を果たすため。 ◎仲間のお話を聞いての自分の考えを交流する。	・「生計の維持」「個性の伸長」「社会への貢献」のどの視点を誰がもっているのか、生徒の考えを事前にかんでおく。 ・「働く目的」についての生徒自身の考えを明確にする。	・P.24①
課題：身近な人々の話や資料を参考に、何のために働くのか考えてみよう。				
中心の活動	・働く目的には、生計の維持や個性の伸長、社会への貢献などがあり、これらがあいまって生きがいにつながっていることを理解する。	◎働く目的について、家族や身近な人たちに聞いてきたことを交流する。 <生計の維持> ・家族を養うため。 ・少しでもよい暮らしをするため。 <個性の伸長> ・働くことが楽しく、やりがいを感じている。 ・自分の趣味や個性が発揮できる。 <社会への貢献> ・人の役に立ちたいし、仕事に誇りをもっている。 ・社会の一員として義務を果たすため。 ◎P.24②を読み、働く目的について考える。 ・「働く」ことが、被災して困っている人々のためになっている。 ・「みんなのために」働いている。 ・命に関わる仕事に誇りと責任を感じて働いている。お金のためだけになら、ここまで働けないと思う。 ・自分の身につけた技術や知識を復興のために使っている。 ・この仕事だけでなく、どの仕事も、私たちみんなの生活を支えている。	・自分や親の考えと比較させながら聞かせる。 ・取材してきた「働く上での喜びや苦しさ」について、資料編①をもとに発表する。 ・生計の維持、個性の伸長、社会への貢献の3つに分けてまとめて板書するとよい。 ・仲間と考えを交流させる。 ・「毎日どんな思いで働いているのか」を問い返すことで、被災地という特別な状況だからと捉えさせないようにする。	・1-4, 資料編① ・P.24②
まとめの活動	・働くことの意義や目的について理解を深める。	◎本時の学習についてまとめ、発表する。 ・P.25③に記入する。	・働く目的は、人それぞれ違うことやどの目的が高次というわけではないこともおさえる。(生きがいを職業以外にもつ人も増えている事実) ・個性の伸長や社会への貢献が実感できる職業を選ぶことの大切さをおさえる。	・P.25③ ・説話など